

広報

だんち

2024
10月号

NO.513

(協)焼津水産加工
センター発行

焼津市惣右衛門1280番地の2

令和6年10月31日発行

編集・総務係

TEL・054-624-2111

FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp>

10月団地の言葉

「みんなで繋ぐ安全意識！」

未来へ繋ぐ安全文化！」

9月下旬の3連休を過ぎた辺りから急に気温が下がった気がします。昔から「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、正にその通りですね。日中のガラガラと焼かれる様な日差しが和らぎ過ぎしやすく感じる様になりました。6月頃から環境省のアプリで「熱中症警戒情報」の通知が来る度に「またか・・・」と辟易させられる日々が続いていました。やっと通知の来ない平穏な日々が訪れ秋の到来を感じ安心していきます。今年も団地内では組合職員や団地従業員数名が熱中症が疑われる症状で体調を崩し、救急搬送される事案もありました。志太消防では熱中症による救急搬送が5月から9月末までで165名いたそうですが、今年のような酷暑では無理ありません。特に多かったのが7月で、1カ月で95名の方が熱中症で救急搬送されました。これは前年同月比153%で過去最多の数字です。この数字を見ても今年の夏が如何に異常な暑さだったかご理解頂けると思います。また熱

中症発生場所の区分を見ると「住居」がダントツで約30%の50件を占めています。「エアコンの風が苦手」や「電気代が嵩む」と言った理由でエアコンを使用せず熱中症に罹り体調を崩す方も少なくなかった様です。

皆さんはご自身の職場や家庭で熱中症が疑われる症状の方がいた場合、どの様な対応をするかガイドラインの様な決め事があるでしょうか？セオリー通りの対応だと「軽症・中等症・重症」のランク分けをします。軽症「目まい・立ち眩み・汗が止まらない」中等症「頭痛・吐き気・倦怠感」重症「意識障害・歩けない・体温が高い」といった感じで簡易的にトリアーじます。軽症なら涼しい部屋で補水したり首や両脇などを冷やして安静にし、回復したら帰宅させましょう。中等症の場合は入院して治療を受ける必要があります。軽症の場合でも自力で飲料が飲めない、又は飲んで戻ってしまう場合は要注意で即座に医療機関を受診させる必要があります。トリアーする際に一番重要なポイントとなるのは意識の有無なので、従命反応が無い（呼び掛けに応じない）場合は迷わず救急車を呼

びましょう。また「救急車を呼んだから」や「応急処置したから」・・・と言って放置するのは絶対に避けて下さい。容体が急変する事を想定し、搬送されるのを見届けるまでは誰か1人でも傍にいて経過観察を続けるのが鉄則です。熱中症のシーズンには終わったと思っても気温の急な変化に体が追いつかず体調を崩す方もいるかもしれません。毎朝の朝礼などで互いの顔色を見て様子がおかしいと思えば積極的に声掛けをし未然に防ぐ様に心掛けましょう。今月のだんちの言葉はYSKさんの作品です。

今月の紙面

p2

10月の定例役員会/50期生専門級試験/さかなのまち焼津観光物産展に業務課が出店

p3

工団連役職者研修会に参加/安全運転管理者法定講習に参加/環境整備を实施了しました

p4

カツオ情報/百味窓

11月の組合行事予定

11月11日(月)

定例役員会

11月の暦

11月3日(日)

文化の日

11月4日(月)

振替休日

11月23日(日)

勤労感謝の日

◆10月の定例役員会◆

去る10月7日に、10月度定例役員会が開催されました。

1 人材確保等支援助成金の申請について

行政主管の助成事業として、「人材確保」「職場定着」などを支援する。当組合の今年度重点取組事項である「人材育成・職場安全の向上策実践」に向けて、専門家によるセミナー開催、採用活動の充実に向けた備品等調達などを内容として助成金の申請を行うとし、原案通り可決承認された。なお、同事業にあっては推進母体として検討委員会を設置するが当役員会内にそれを置き、また推進員として長谷川事務局長が就任することも確認された。

2 内部規定の改定の件

組合内部の規程・内規について、昨今の物価等高騰を鑑みてその設定金額について変更を加えた。改定したのは、役職員の出張旅費などについて規定した「国内旅費支給規程」、職員の福利厚生として永年勤続した職員に対しての褒賞を定めた「職員永年勤続表彰内規」の2規定。

3 連絡・報告事項

「焼津市補助事業への申請について」「組合員の消防法違反施設への対応について」ほか2項目の連絡・報告事項について了承された。

◆50期生専門級試験◆



2022年3月24日入国した50期生13名は2024年9月20日、実習終了の専門級試験を受験しました。

コロナ感染症が収束間際の第一陣として来日したこの期生は、集合講習は他所の隔離施設にて実施したので、企業の受け入れコストが上がり、加工団地の色に染めるのもやや時間がかかりました。大半の子は3年間で真面目に実習を頑張りましたが、残念ながら途中で2名の女子実習生が退職して、東京辺りへ特定活動に行つたのです。

3年の実習終了後の去就についてアンケートした結果は1名がこの団地に残り、他のメンバーは県外へ行くと分かりました。本来、監理団体としては3年実習の目標を達成したので、帰国してもらいたい母国で覚えた技術を生かす義務があります。彼らは母国の政治状況で帰国困難理由を入管に申し出れば、それなりの在留資格をもらえるので、日本に残ることができるとは。本当に甘い特例措置だと思われそうです。

13名の日本での活躍を期待しております。

◆さかなのまち焼津観光物産展に業務課が出店◆

10月5日(土)・6日(日)にイトーヨーカドーららぽーと横浜店イベントスペースにて行われた「さかなのまち焼津観光物産展」に組合業務課含め7組合が出店し、組合員商品の佃煮、鮪珍味、フィッシュカルシウムなどの団地製品を販売して参りました。

外はあいにくの雨ではありませんでしたが、イベントスペースが建物内であり、大きな商業施設ということで老若男女問わず人の往来が多かったです。

今回は初めての開催場所ということもあり、人の流れに対しての配置等試行錯誤した二日間ではありましたが、少しでも多くの方に焼津市の特産品を知っていただけるいい機会になったと思います。



◆工団連役職者研修会に参加◆

当組合を含む全国67の団地組合にて構成される、全国工場団地協同組合連合会(以下、工団連)主催の「組合事務局専従役職

員研修会」が、このほど東京都の機械振興会館（港区芝公園）にて開催され、当組合より水野理事が出席した。

年一回開催されるこの研修に、今年は32名が参集。今回のテーマに「人材の定着化へ「働きがい×働きやすさ」最強」の環境を整える」を掲げ、如何に魅力ある職場づくりをしていくか、働きやすい幸せいっぱいのかを、ワークシヨップ等も交えながら皆で考えていく。

初日は、「健康経営とは」というテーマでの講習、更に若手への対応として「承認」マネジメントを証グループにて各自が意見を出し合うなどして指導法を見出すセミナーが行われた。

2日目は、商工中金の経営企画部から「社員の幸せ」を着眼し、従業員の幸福度を可視化していく取組みを体験するワークシヨップが行われた。更に工団連会員でもある福岡・北九州工業団地（協）田村専務



理事による「キャリアエンパワーメント」という考え方について講演が行われ、MBAやキャリアコンサルタントといった専門資格者としての知見を踏まえつつ、団地組合という立場を鑑みて（咀嚼して）説

明が行われた。

当組合の令和6年度重点取組事項の一つ「職場定着・人材確保をねらいとした人材育成・職場安全の向上策の実践」の着手にむけ大いに参考になり、非常に有意義な研修であったとのこと。

◆安全運転管理者法定講習に参加◆

10月18日（金）安全運転管理者法定講習を受講して参りました。

団地では7月に工場長連絡協議会安全衛生部会主催の「安全運転管理者研修」を実施したので内容としては重複する部分も多分にありましたが、どちらも「安全運転の励行」と「無事故・無違反の推進」と目的や目指す事は同じです。秋の全国交通安全運動の期間中である9月下旬にもニュースになりましたが相変わらず高齢者の逆走運転や飲酒運転に起因する痛ましい事故が絶えません。単独事故なら自業自得で片付きませんが、何の落ち度も無い無関係の方が巻き込まれてしまうのは理不尽極まりないと憤りを感じます。車は便利な移動手段ですが、その反面危険な凶器にもなり得ます。講習では焼津市内で実際に起きた交通事故の映像も見せて下さり、一瞬の油断や不注意が大きな事故に直結する事の恐ろしさを感じました。

11月になれば日没時間



が早まり、薄暮時間帯（退勤時刻頃）になればだいぶ視界が悪くなります。車も歩行者も互いに注意し「交通事故ゼロ」を心掛けて下さい。

◆環境整備を実施しました◆



10月12日（土）の午前中に組合業務管理部で第5駐車場内と事務所裏の空き地の環境整備を行いました。天気はあまりよくなかったですが、暑くなかったのは助かりました。全員で植え込みの草むしりや土手の草刈りを行い、雑草のみで2か所合わせてゴミ袋30袋近く集まりました。作業後には除草剤散布を行いましたので早く効いてくれる事を願います。

10月も半ばを過ぎ、これから少しずつ寒くなっていくので雑草もそこまで生えてくる事は無いと思いますが、1日数十分でも時間がある時に清掃をして駐車場を綺麗な状態で維持したいと思います。駐車場外側の道路に面している部分に關しても10月中に草刈り機等を使用して整備する予定です。



2024年（1～8月計）の輸出入

※輸出はFOB価格、輸入はCIF価格

※財務省貿易統計データを加工して作成



カツオ

<輸出>		2024年		2023年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
タイ	インドネシア	15,766	3,170,721	11,023	2,766,982
フィリピン		1,909	471,245	954	281,225
インドネシア		550	108,824	—	—
計		18,250	3,753,737	12,113	3,089,328

<輸入>		2024年		2023年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
インドネシア		20,412	4,380,536	21,840	5,122,629
タイ		300	43,588	199	36,632
ブルネイ		274	58,869	299	52,540
計		21,302	4,565,627	24,525	5,757,933

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

※水産庁統計データ冷蔵水産物流通統計月末在庫を加工して作成

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2024年(単位:t)	19,247	20,876	19,165	20,335	20,580	19,429	16,628						136,260

§ 国内主要漁港市場の水揚（2024年1～8月計）

※水産庁統計データ産地水産物流通統計を加工して作成

情報

<生カツオ>	2024年		2023年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	36,124	326 円	38,134	367 円	95%	89%
<冷カツオ>	116,147	268 円	98,800	318 円	118%	84%
<カツオ合計>	152,271	282 円	136,934	332 円	111%	85%

§ 焼津水揚（2024年1月～9月累計）

※焼津漁業協同組合統計データ取扱高対比表を加工して作成

<1本釣カツオ>	2024年		2023年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	9,373	366 円	9,541	402 円	98%	91%
<巻網カツオ>	50,087	225 円	40,642	277 円	123%	81%
<カツオ合計>	59,460	247 円	50,183	301 円	118%	82%

百味窓

共生生活について

先日、静岡新聞にて静岡市営住宅を留学生向けに空き室を貸出することを報道しました。少子高齢化の日本社会では、2024年の統計で空き家は900万戸あり、社会問題になっていることが世の中でも共通認識になっている。一方、政府は外国人の技能実習生、特定技能生を積極的に受け入れ政策を策定し、多文化共生社会の実現を努力している傍ら、来日した技能実習生などの入居できるアパートが緊迫している。民間のアパートでは、外国人に貸し出さないことは珍しくないです。この加工団地の周辺に市営住宅があり、よく見ると、年数なりの半分以上が空き室になっているところがあります。そのままだと、市県民税の無駄になり、市の財政負担になるのではないかと思います。全国でも似ているところが多いだろう。

「外国人と地域住民との交流促進」もスローガンになり、社会の実態が本当の交流になるのはまだ時間がかかるのではないかと思います。日本語を理解できても、簡単に病院から受診を断られることもあるし、入居できるアパートも条件付きが多く、日本国内の外国人村が多いのではないのでしょうか。

3年後、実習生制度が育成就労に変わることになりますが、名前だけでなく、行政面、実態面もそれなりにしていくことを大きく期待しております。

静岡市営住宅を留学生に貸し出すことを大きく評価し、もっと大きな一歩を踏み出してほしいですね。